

スクラム

～立志・挑戦・感動～

浮羽中学校学校通信

第5号(5月18日発行)

文責 校長 高倉 満

「新友」から「親友」へ ～今こそ友だちとのかかわりを深めよう～

中学校に入学して「親友」と呼べる友達ができたとします。もちろん一年生はこれからですが・・・あなたは「あの人と親友だ」と言うとき、何を基準にして「親友」だと言っていますか。「親友」の条件は何か？それはお互いを高め合っていける人間関係かどうかだと思います。今、仲が良いと思っている人のことを頭に思い浮かべながら、友達との関係を見つめ直してください。「私たちはなれ合っているだけではないだろうか？」と思うことはないですか。「なれ合い」とは、実に怖いことです。相手の考えや行動がおかしいと感じても指摘すると相手が怒ってしまうから、自分が嫌われるから、厳しいことを言わずにお互いつき合っているだけ。自分の本心を言うと、どう思われるか分からないから、ごまかしてつき合っているだけ。嫌われるのが怖いから思ったことが言えないような友達関係は、決して「親友」とは言いません。自分が苦しいとき、黙ってそばにいてくれる人は素晴らしい友達ですが、自分の中にある弱さや間違いをきちんと教えてくれる人こそ、本当の親友だと思います。自分の都合のよい人を中心に友達を選んでしまうようにはなあってほしくないと思います。友達が離れていくのが怖くて、その人が悪いことをしていても黙っている。言いたいことも言わなかった。そんな人間が集まった集団にはなあってほしくないと思います。誰一人やらなくても、自分だけでも正しいことをする勇気がある。多くの人がやっても、正しくないことなら、自分一人になってもやらない勇気がある。こんな人こそ親友にふさわしいと思うし、そんな人になあってほしいと思います。

一生懸命に授業に頑張る、掃除は時間いっぱい頑張る、部活に頑張る、友だちに優しい声をかける、そんな友達の姿もたくさんあります。浮羽中のみんなが目標を高くもち、全員が笑顔で生活していける、そんな集団になあってほしいと思います。

コロナウイルス感染症対策で臨時休校が長くなり、友達と学校で一緒に過ごす時間が少なくなったからこそ、学校再開後の友達とのかかわりを今まで以上に大切にしていこう、いい思い出の一つでも多くつくって欲しいと強く思います。

授業再開！授業を大切にしていこう～「傾聴」+「思考・活動」+「チームプレー」で～

□5月21日から分散登校を始めます。午前、午後に分けて授業を3時間実施していきます。授業は前年度の未履修内容を中心に行います。授業再開に向けて大切にしたいことを書きます。みんなで意識して真剣に取り組んでいきましょう。

①「**傾聴**」授業では先生がその学習の中で大切な話を話します。それを皆さんがどんな態度で聞いていくかで、理解の程度が全然違ってきます。先生の話全部聞きとる、集中して心を込めて聞き取ることが「傾聴」です。「先生が今、とても重要な話しをしている。絶対聞き漏らしがないようにするぞ。」そんな姿勢で臨むことが大切です。

②「**思考・活動とは**」授業では先生からの発問(問いかけ)があります。その問いかけに、しっかり反応して考えていかなくてははいけません。そして分からない時(発問の意味、考え方等)は質問します。これが「思考」です。そして、先生から「ここは大切だからしっかりノートを取ってください。」とか、「隣の友だちと話し合ってください。」といった指示が出たら、積極的に活動します。このように「思考・活動」は皆さんの理解をより確かなもの、深いものにするために絶対必要なことなのです。

③「**チームプレーとは**」各クラス30数名が所属しています。一人の人が「傾聴」を心がけても他の人が私語をしていたり、何人かの人が騒いでいたら授業は成立しません。先生と生徒の皆さん一人一人が全員の学習を保障する環境をつくっていかなくてははいけません。スクラムを組んだチームプレーということを再確認して欲しいと思います。一人のわがままなプレーはチームの敗北につながります。スクラムが崩れてしまいます。クラス全員がチームの一員として授業にのぞみ、一切の私語やふざけが許されない雰囲気教室全体に広がっていくことを期待しています。

皆さんがめざすのは①傾聴+②「思考・活動」+③「チームプレー」=「学習効果の上がる学級」です。

